



世界の料理パーティー みんなでダンス

主な内容

- 広報かも11月号の訂正とおわび …… ②
- 平成24年のできごと …………… ③⑥
- 税に関する作文・標語／総体結果 …… ⑦
- 平成23年度決算 …………… ⑧
- 人権擁護委員の活動／歯の健康 …… ⑨
- 加茂の風土記 …………… ⑩

加茂病院は加茂市の宝 加茂病院を盛り立てましょう
 「美人の湯」も加茂市の宝 美人の湯をよろしくお願いたします

訂正とお詫び

広報かも平成24年11月号の2ページから始まる私の市政報告は、肺炎球菌ワクチンの接種に関する極めて重要なものでございます。

この市政報告は、特に高齢の方々が高齢者の方々が長生きされるために、極めて重要なものでございます。

ところが、11月号2ページのこの市政報告の見出しの4行目にミスプリントがあり、「可能」とあるべきところが「課の」になっておりました。正しい文章は、下段のとおりでございます。訂正して、お詫び申し上げます。

なお、この際、文章もさらにわかりやすくいたしました。

また、このたびのミスプリントは、極めて重要なものでございますので、今号に挟み込みました訂正用シールを、先般さし上げました広報かも11月号の2ページに、お貼り下さいまして、訂正して下さいますよう、お願い申し上げます。

加茂市長 小池清彦

高齢者の方々に肺炎球菌ワクチンの接種をお奨めします。

接種後五年以上たった後の「再接種」や「繰り返し接種」も可能であるとのこと。

なお、七十五歳以上の方々には、肺炎球菌ワクチン接種費用の助成（三千元）を行います。

平成24年のできごと



平成二十四年は、日本海側では豪雪による被害、夏には全国的に猛暑が報道されました。そんな中、七月にはロンドンオリンピックが開催され、十月には山中伸弥教授のノーベル生理学・医学賞受賞の喜ばしいニュースや、年末の総選挙で政権交代という大きなできごとがあった一年でした。加茂市の一年間のできごとをまとめましたのでご覧ください。

■救命救急センターを加茂病院に併設することを求める要望書と署名簿を知事に提出（9月20日）

県庁で50人の区長さんと小池市長が31,876名の署名簿を泉田知事と小川県議会議長に手渡し、救命救急センターを加茂病院に併設するよう要望しました。

平成24年 加茂市のできごと

- 1月1日 元旦マラソン
- 8日 消防出初式
- 15日 新春市民囲碁大会
- 19日 新春美術展・いけばな展
- 20日 紙すき技術保存振興事業スタート
- 22日 文化財防火デー放水訓練
- 26日 新春市民将棋大会
- 27日 市議会1月臨時会
- 27日 大島町椿まつり親善訪問
- 2月4日 ふるさと加茂かるた大会
- 14日 狭口駐在所移転開所
- 19日 雪上レクリエーション大会
- 23日 平成24年度当初予算案発表
- 3月5日 市内中学校卒業式
- 7日 市議会3月定例会（～22日）
- 23日 市内小学校卒業式
- 25日 第29回民踊まつり
- 27日 矢立境線信号機点灯
- 28日 加茂市表彰式
- 4月6日 市内小・中学校入学式
- 22日 第46回雪椿まつり大園遊会
- 24日 市議会4月臨時会
- 29日 粟ヶ岳山開き
- 5月3日 市民茶会
- 8日 大通り春まつり
- 成人式
- 8日 中学生武道授業・演武会

加茂市のできごと 2012

世界のできごと・日本の出来事

- 2月18日 天皇陛下の冠動脈バイパス手術成功
- 3月4日 ロシア大統領選でプーチン元大統領が
当選
- 4月13日 北朝鮮がミサイル発射
22日 佐渡でトキが36年ぶりに自然ふ化
- 5月21日 日本各地で金環日食を観測
22日 東京スカイツリー開業
24日 南魚沼市の八箇峠トンネルで爆発事故
- 6月6日 「髭の殿下」で親しまれていた三笠宮寛
仁親王薨去
- 7月27日 第30回ロンドンオリンピック開幕
- 8月6日 探査機キュリオシティが火星着陸
29日 ロンドンパラリンピック開幕
- 9月11日 尖閣諸島を国有化
26日 日馬富士が第70代横綱に
29日 女子レスリング吉田沙保里選手が世界
大会13連覇
- 10月1日 東京駅丸の内駅舎復元工事完了
21日 新潟県知事選挙投票日
- 11月16日 衆議院解散
- 12月10日 山中伸弥さんノーベル生理学医学賞受賞
12日 北朝鮮がミサイル発射
16日 第46回総選挙投開票日
19日 韓国大統領選で初の女性大統領誕生へ



■紙すき技術保存振興事業スタート（1月20日）
かつて「加茂紙」の産地を支えた伝統技術を継承するため、上町に紙すき技術の保存振興拠点が完成しました。



■蓮池薫 人権講演会（7月16日）
北朝鮮の拉致被害者・蓮池薫さんの講演に、文化会館大ホールは満席となり、拉致被害者への関心と早期解決への要望の高さを知ることができました。

	22日		20日	19日	17日	15日	9月1日	26日	8月14日	30日	28日	22日	20日	19日	18日	16日	7月13日	29日	20日	15日	6月3日	21日	5月13日			
あかりばウエディング (~23日)	商工フェア・小京都加茂秋物語	署名簿を知事に提出	救命救急センターを加茂病院に併設することを求める要望書と	市議会9月定例会（~10月2日）	敬老会	長瀬神社秋季祭礼	青海神社秋季祭礼	第30回舞踊まつり	第27回越後加茂川夏祭り	訪問（~8月6日）	中学生代表団コムソモリスクス市	自転車ラリー大会	下条川ダムへら鮎釣り大会	市議会7月臨時会	国際交流協会の集い	国際交流協会総会	新規高卒求人説明会	蓮池薫人権講演会	第55回総体総合開会式	第11回加茂桐たんす祭	市議会6月定例会（~29日）	上条まつり	第13回全国松坂小唄日本一大会	歯っぴいスマイル（無料歯科健診）	加茂川一斉清掃	春季消防演習

加茂市のできごと 2012



■中学生の武道授業が必修化（10月9日～11月1日）
加茂市では3年目となります。各校から集まったの合同授業に生徒たちは「他校とも交流できて楽しい」と話していました。



■第46回雪椿まつり大園遊会（4月22日）
ミス雪椿クイーンに大野裕美さん、ミス雪椿に廣瀬祐子さんと棚橋笑里夏さんが、2年ぶりの大園遊会で選ばれました。



■中学生オペラ鑑賞（10月16日）
次代を担う子どもの芸術文化体験事業で「魔笛」が上演されました。加茂市出身の三浦克次さんと加茂中生徒も舞台に参加しました。



■狭口駐在所移転新築（2月14日）
地域の安全を守ってきた狭口駐在所が道路向かいに移転新築されました。地域の皆さんが相談に訪れやすいようにと造られています。

16日	12月12日	12月27日	12月18日	9月9日	6月6日	4月4日	11月3日	11月29日	28日	26日	21日	16日	14日	9日	10月8日	10月30日	10月26日	9月23日										
衆議院議員総選挙投票日	冬鳥越スキーガーデン・ゲレンデオープン	市議会12月定例会（～28日）	世界の料理パーティー	金婚を祝う会	勤労青少年ホーム紅葉祭	謡うた祭り	NHK公開収録「それゆけ！民謡うた祭り」	第9回加茂菊花展（～23日）	第37回市民音楽祭	第18回公民館作品展	第45回市展（～7日）	第56回中学校音楽発表会	下条川ダムへら鮎放流式	健康ウォーク	第56回小学校音楽発表会	大通り秋まつり・農業まつり	新潟知事選挙投票日	大通り秋まつり・農業まつり	新潟知事選挙投票日	第6回加茂福祉フェスティバル	中学生芸術文化体験オペラ「魔笛」	中学校武道合同授業（～11月1日）	第7回加茂川ブルース・加茂川慕情全国大会	第31回市民カラオケ大会	第34回市民芸能祭	交通事故ナシ街頭指導	トリー大会	第12回市長杯冬鳥越クロスカン

加茂市のできごと 2012



■第27回越後加茂川夏祭り（8月14日）
14年ぶりに開催された加茂川夕日コンサート。出演した沢田知可子さんの歌に河川敷の大勢の人たちで盛り上がりました。



■コムソモリスク市訪問（7月30日～8月6日）
12回目となる訪問で、12名の中学生は生活様式・習慣・料理など文化の違いを体験し、たくさんの友達に伝えたいと帰国報告をしました。



■新規高卒求人説明会（7月18日）
加茂地区で初めての開催となる説明会に23社が参加し、来春卒業予定の高校生が仕事の内容について質問し、就職を決める機会となりました。



■知事選挙（10月21日）・総選挙（12月16日）
10月に知事選挙、12月に総選挙と2つの選挙が行われました。加茂市の投票率は知事選で51.52%、衆議院小選挙区選挙で64.51%でした。



■大雪で一斉除雪（2月13日）
2月はじめから降り出した雪で、本町大通りでアーケードの一斉除雪が行われました。



■あかりばウエディング（9月22日）
2回目となった今回は、会場の青海神社や加茂山公園を訪れた人たちが二人の門出を祝福しました。

「税」に関する作文・標語を表彰

「税」の仕組みと役割について知識と関心を高めてもらおうと、作文と標語を募集しました。作文には、二百十六点、標語には四百七

十六点の応募があり、各賞が決まりました。また、税への理解に取り組む活動を評価され、二校に感謝状が贈られました。(敬称略)

作文

【三条税務署長賞】

増税は必要か
大橋将広 (若宮中三)

意味のある納税
本間千夏 (加茂農林高三)

【三条地域振興局長賞】

私のごく身近な税
阿部悠子 (若宮中三)

【三南地区納税貯蓄組合連合会長賞】

1ピースを大切に
原舞美 (加茂中三)

私達と生活の税金
中林祥子 (葵中一)

税金に支えられている私たち
小野結奈 (七谷中三)

税について
小林楓 (須田中三)

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

税金の必要性
坂内拓海 (加茂中三)

納税の大切さ
高橋諒 (葵中一)

納税の必要性
中野智弥 (七谷中三)

日本の未来へ捧ぐ税
若狭真太 (若宮中三)

税金について
更科晴紀 (須田中三)

税のつながり
高野秋穂 (加茂暁星高三)

人を助ける税金
小畑はづき (加茂農林高三)

税金の使い道
鶴巻沙也香 (加茂高三)

標語

【加茂市租税教育推進協議会長賞・優秀賞】

夢をこめ大事に使おうみんなの税
長谷川菜々 (加茂中三)

「税金で明るく暮せる毎日を」
中林祥子 (葵中一)

「税金で納めてみんなの役に立つ」
狩俣勇介 (葵中二)

「税金を納めて作るう住まいよい暮らし」
有本歩 (葵中三)

「税金の形が変わり豊かな暮らし」
泉田美鈴 (七谷中三)

「消費税払って手伝う町づくり」
古川七海 (若宮中一)

「税金は明るい未来を築く鍵」
横山温人 (若宮中二)

「育てよう福祉の町を税金で」
坪谷麻由 (若宮中三)

「税金をみんなで納めて楽しい暮らし」
萱森莉奈 (須田中一)

「税金で暮らしやすい町造ろうよ」
難波美羽 (須田中二)

「納めよう人生とあしたの積み立て金」
武田昂大 (須田中三)

■租税教育推進校等税務署長感謝状

加茂南小学校、石川小学校

総体結果



体操競技

期日 十二月八・九日

会場 体操トレーニングセンター

【個人総合】▼小学男子 (タンブリング・円馬・とび箱・鉄棒・柔軟)

①保倉秀翔 (下条小) ②長澤響 (加茂体操クラブ) ③伊藤駿 (加茂体操クラブ)

▼小学女子 (とび箱・単バ) ①平均台・タンブリング・柔軟

①佐野美妃 (加茂小) ②茂野光 (加茂小) ③岡橋あかり (七谷小) ▼中

学以上男子 (ゆか・あん馬・つり輪・跳馬・平行棒・鉄棒・柔軟) ①

佐藤脩平 (加茂体操クラブ) ②北見将一 (若宮中) ③池津真大 (加茂高)

▼中学以上女子 (跳馬・段違い平行棒・平均台・ゆか・柔軟) ①五十嵐紗衣 (若宮中) ②捧莉穂 (加茂中) ③熊倉未来 (加茂中)

【特別種目】▼かべ倒立男子 ①池津真大 ②保倉秀翔 ③佐藤脩平 ▼同女子

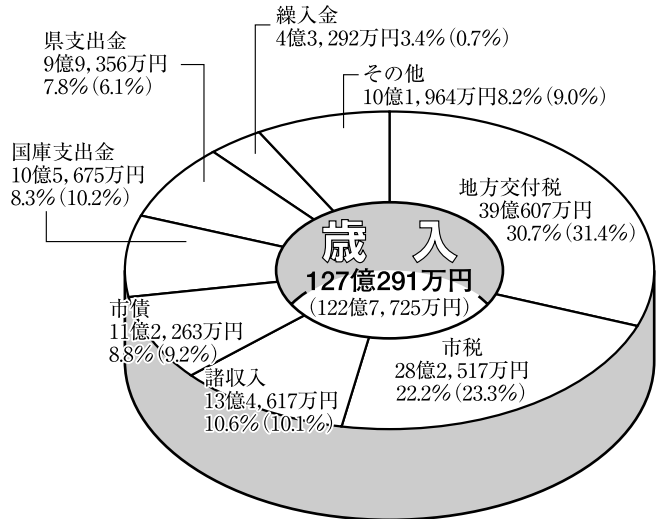
①茂野天泉 (加茂中) ②五十嵐紗衣 ③茂野光 ▼倒立歩行男子 ①佐藤脩平 ②池津真大 ③保倉秀翔 ▼同女子 ①捧莉穂 ②茂野月音 ③茂野天泉

会長賞 (最優秀選手) ▼佐藤脩平 (加茂体操クラブ) ▼佐野美妃 (加茂小) 三栗賞 (最優秀新人) ▼保倉秀翔 (下条小)

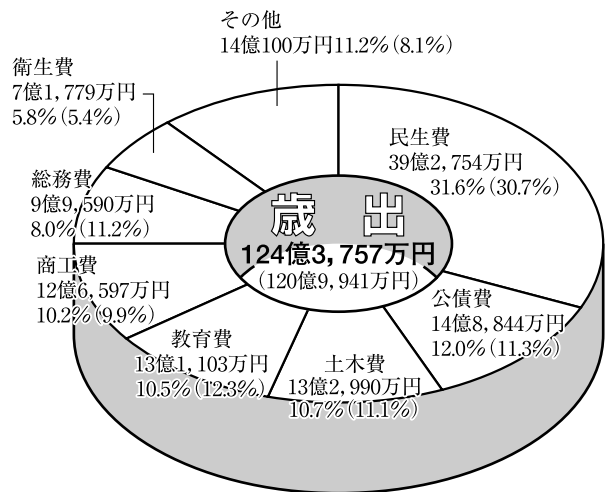
平成23年度決算

平成23年度の決算がまとまり、市議会12月定例会において認定されました。一般会計と特別会計の歳出の合計は205億7,837万円となっています。この内容を表とグラフでご覧ください。

一般会計124億3,757万円



一般会計決算



[グラフ・表の()内は平成22年度のものです]

特別会計決算 (単位:万円)

会計名	歳入合計	歳出合計	差引残額
国民健康保険	30億6,178	31億7,361	△1億1,183
後期高齢者医療	2億7,308	2億6,815	493
宅地造成事業	3,079	904	2,175
下水道事業	17億5,044	17億1,679	3,365
介護保険	25億7,592	25億2,544	5,048
在宅介護サービス事業	5億4,008	4億4,777	9,231

市税の負担状況 (平成24年3月31日現在の人口 30,155人、世帯数 10,205世帯)

	収入済額	1人当たり	1世帯当たり
市民税	12億616万円	39,998円	118,193円
固定資産税	12億4,515万円	41,291円	122,013円
軽自動車税	6,566万円	2,177円	6,434円
市たばこ税	1億6,350万円	5,422円	16,021円
入湯税	493万円	163円	483円
都市計画税	1億3,619万円	4,516円	13,345円

市民1人当たりの一般会計歳出額412,454円

民生費	130,245円	土木費	44,102円
教育費	43,476円	商工費	41,982円
公債費	49,359円	衛生費	23,803円
総務費	33,026円	その他	46,461円



性質別経費 (普通会計)

人件費	21億5,176万円	17.6% (18.8%)
物件費	18億5,396万円	15.2% (13.6%)
扶助費	16億4,482万円	13.4% (13.4%)
繰出金	16億727万円	13.1% (13.1%)
公債費	13億2,305万円	10.8% (10.7%)
補助費など	12億2,592万円	10.0% (10.5%)
投資出資など	11億9,145万円	9.7% (9.2%)
建設事業費	8億4,410万円	6.9% (6.2%)
その他	4億670万円	3.3% (4.5%)
合計	122億4,903万円	

性質別経費は統計の取り方が異なるため一般会計歳出額とは一致しません。

市債現在高は114億4,936万円为国が全額負担する分を除くと70億888万円となり、これを返済するとき、国がさらにその一部を負担しますので、実際に加茂市が返済する金額は47億452万円となります。

区分	現在高
1 総務債	5億8,023万円
2 民生債	6億6,700万円
3 衛生債	8億5,870万円
4 農林水産業債	4億3,108万円
5 商工債	606万円
6 土木債	21億8,914万円
7 消防債	2,235万円
8 教育債	8億7,946万円
9 災害復旧債	2億6,317万円
10 転貸債	924万円
11 減収補てん債	1億5,858万円
12 退職手当債	9億4,387万円
小計	70億888万円
13 減税補てん債	4億1,823万円
14 臨時税収補てん債	8,599万円
15 臨時財政対策債	39億3,626万円
一般会計総計	114億4,936万円

人権擁護委員の活動

加茂市には法務大臣から委嘱を受けた五名の人権擁護委員がいます。嫌がらせやいじめ、差別などの人権侵害を無くすため、市や法務局との連携を取りながら特設人権相談所や自宅でも人権に関する悩みごとの相談に応じています。

「人権の花運動」を通じて、地域での人権啓発活動を行っています。その一環として、加茂市の人権擁護委員と三条人権擁護委員協議会紙芝居部会が、マスケット「人権あゆみちゃん」といっしょに、西宮保育園を訪問し、園児の前で、優しい心、思いやりの心のお話の紙芝居を披露し、園児からの歓迎を受けました。

人権擁護委員は特設人権相談所のほか、さまざまな啓発活動に取り組んでいます。

加茂市内の人権擁護委員は次の皆さんです。

- ▼西村國一さん (千刈 2・1・5
☎ 52・0342)
- ▼廣野豊作さん (若宮町 1・14・1
☎ 52・1382)
- ▼小池俊木さん (本町 1・1
☎ 52・2321)
- ▼太田由紀子さん (栄町 10・7
☎ 53・2254)
- ▼捧 一男さん (秋房 16・6
☎ 53・6155)



「ダイヤモンドは永遠の輝き」という広告がありました。女性の宝石へのあこがれは永遠のようですね。

さて、ダイヤモンドは、この世の中で最も硬い物質としても知られています。だから工業用に合成されたダイヤモンドは、ガラスの切断などに、いろいろな切削器具に利用されています。

硬い歯を削る 硬いエナメル質を削る

を高速で回転させる切削器械)の音です。三十年ほど前にこのエアータービンが開発されるまでは、歯のエナメル質を削ることは大変なことでした。エアータービンのおかげで、今では効率よく、また正確にエナメル質が削れるようになり、歯科医療の精度が向上しました。また、同時に患者さんへの負担もずいぶん軽くなり、快適になりました。

エアータービンは、一分間に三千万から五千万回も回転しますので、あのような高い音が出てしまいます。回転する羽に取り付ける刃先の先端にダイヤモンドの粉末が付けられているのです。また、高速で削ると熱が発生するので、冷却するために刃先に向かって水が出るようになっていたり、正確に削れるよう照明装置が組み込まれたものも出てきました。

エアータービンは非常に精密な器械ですので、これまで消毒が大変でした。最近では、オートクレープ(高圧の蒸気による滅菌装置)にも耐えられるようになり、歯科医療技術はまた一歩前進したのです。

(加茂市歯科医師会)

私たち歯科医師が、歯を削るにも、ダイヤモンドを使っているのです。これは歯の表面をおおっているエナメル質が、ダイヤモンドと同じくらい硬いからです。硬さを計る単位(モース硬度)を使って正確にいうと、ダイヤモンド10、エナメル質は7です。

歯医者さんに行くとキーンという高い音が聞こえて寒気がするという患者さんがいます。あれはエアータービン(圧搾空気力で、羽

森田千庵の蘭方医入塾と解剖見聞

文政四年（一八二二）、四月八

わしている。

日、加茂町の森田千庵（一七九八〜一八五七）は、京都の蘭学者で蘭方医の藤林普山（一七八一〜一八三六）の塾に入塾した。前年五月、「ご令息、最早出府候哉、いまだ出府も御座なく候ハ、宜しく頼み上げ候」と、交遊のあった父甫三宛てに普山から直に入塾の要請が来ていた。

半年後の九月下旬に、普山から甫三宛て書簡に「ご令息儀、随分気丈に出精、かの横文字も余ほど読み出し申し候、ご安心くださるべく候」と勉強ぶりを伝えている。そして是非に見分したいと思っていたことが、十二月十六日に巡って来た。京都の蘭方医小森桃塙（一七八二〜一八四三）が、京都

の西刑場において男の刑死体解剖を行い、千庵は師匠の普山とともに参観したのである。この解剖は、乳糜管（リンパ管）を実視できたことでも知られている。解剖には小森塾生四二人のほか、他の塾から四九人が参観し、普山塾からは藤林普山や千庵・伊藤圭介が参加した。人体解剖の観察は、加茂の人で初めての経験であろう。

この解剖については小森塾の池田冬蔵により、文政六年九月に「解剖図賦」として刊行された。千庵のことは、「森田仙庵 越後」と他塾の医学者として記されている。旧暦の十二月十六日は、太陽暦の一月下旬であろうか。京都はまだ厳寒のなかであったが、西洋医学の習得に燃えていた二十四歳の千庵にとって、眼前に繰り広げられる光景は、上京以来、普山塾で学んだことの実見であった。

この千庵は京都での修学を翌五年八月に終え、文政六年には江戸に出て蘭学者で蘭方医の宇田川玄真塾に入塾した。ここでさらに修学を深め、後に影響し合う戸塚亮斎・藤井方亭らと蘭語の研究にも励んでいた。

社会福祉費寄付金

▼永井尚文さん（天神林）から 三十万円

▼故・山ノ井松雄さんのご遺族から 三十万円

▼加茂テモテ・ルーテル幼稚園から 二万五千二百八十円

▼JA七谷かあちゃん市から 一万五千元

▼あいさい市から 一万五千元

▼笠原順一さん（東京都）から 十万円

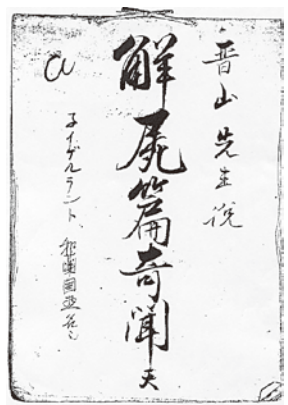
▼有本一史さん（上条）から 車イス等

▼金子健太郎さん（燕市）から 子供用食器類

あーいっしょ

加茂の風土記

書いているが「解屍篇奇聞」では蘭語はカタカナで表



「解屍篇奇聞」(新町 養徳文庫所蔵)

藤林普山 京	伊東舜眠 魏	吉川良吉 京	尾田右近 京
清水右門 雲出	勝部元右衛門 魏	芝原勇 京	木佐慶助 魏
西村専二 京	北澤順吉 京	奥村隆齋 京	小倉吉之進 津
森才次郎 京	森謙齋 魏	津邊守造 和	泊文碩 魏
村上應助 京	井上守一 京	森田仙庵 魏	本吉瀬春水 京

『解屍図賦』に載る森田千庵 (3段目左側)

他門來會觀客 不願

(関 正平)

人口のうごき

12月1日現在	
世帯	10,256 (+5)
人口	30,050 (-25)
男	14,500 (-3)
女	15,550 (-22)
()内は前月比	
(11月異動分)	
出生	15 (男13 女2)
死亡	40 (男21 女19)
転出	38
転入	38